

令和３年度

橋 梁 点 検 技 術 研 修 会 募 集 要 項

継続学習制度（C P D S）認定研修
登録番号 6 4 7 2 7 8
ユニット数：1 4 unit

開催日程

令和３年 7 月 1 3 日（火）から

令和３年 7 月 1 5 日（木）までの 3 日間

研修会場

青森県水産ビル 7 階 大会議室

現地研修

青森県内橋梁

（公財）青森県建設技術センター

橋梁点検技術研修会募集要項

この研修会は、青森県が制定する「青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル」に基づいた橋梁定期点検に必要な技術の習得を主眼に実施するものである。

記

Ⅰ.研修会の内容

1.目 的

橋梁の細部にわたる異常や損傷を発見するとともに劣化・損傷の発見、劣化機構の推定、健全度評価を行うことのできる橋梁点検技術者を養成することを目的とする。

2.日 時

令和3年7月13日(火)午前10時30分(受付10時00分から)～7月15日(木)午後1時頃

3.研修内容

詳細：別紙-1 橋梁点検技術研修会プログラム

4.会 場

① 令和3年7月13日・14日 : 水産ビル 7階 大会議室 (別紙-2)

② 令和3年7月15 : 青森県内現地研修対象橋梁

※会場には駐車場がございませんので、公共交通機関等をご利用して下さい。

5.受講資格

土木施工管理・設計に関する実務経験年数が下表を満たす者。

学歴区分※1	土木施工管理・設計に関する実務経験年数	
	指定学科※2	指定学科以外
大学卒業者	1年以上	1年6ヶ月以上
短期大学卒業者 <u>高等専門学校(5年制)卒業者</u>	2年以上	3年以上
高等学校卒業者	3年以上	4年6ヶ月以上
その他の者	8年以上	

※1 学校教育法によらない専門学校、訓練校は最終学歴にはなりません。

※2 指定学科：(2級土木施工管理技士検定学科試験受験資格を準用：別紙-3)

6.定 員

40名(実橋点検研修を行うため、貸切バスのシート数の約50%×2台分)

※1社からの申込は2名までとさせていただきます。

7.受講料及びテキスト代

- ・ 受 講 料：40,000円/人 (テキスト代、消費税含む)

8.試 験

- ・ 筆記試験
橋梁構造の基本的な知識に関すること。
橋梁の点検及び健全度評価、劣化機構の推定等研修内容に関すること。
- ・ 実地試験
青森県内の実橋を点検のうえ点検調書作成

9.修了証

- ・ 全ての講義を受講(遅刻、早退は認めません)し、筆記試験及び実地試験に合格した方に橋梁AM点検士(道路部門)登録証(有効期間：発行日から令和8年度末)を交付します。交付後は有効期間内での定期的な更新研修の受講が必要です。

II. 申込み方法

1. 申込み方法

- ・ 「受講申込書（別紙-4）、実務経験証明書（別紙-5）」に必要事項を記入の上、返信用封筒（返信先記入、84円切手貼付、長3版）を同封して下記申込み先（VI. 事務局）に送付して下さい。
- ・ 受講申込書に写真（申込み前3ヶ月以内に脱帽のうえ正面から撮影した胸から上の写真）を1枚貼付けし、その他に修了証に貼付けする写真を1枚同封して下さい。写真をクリップ等ではさむと写真が歪んだり傷がつきますので小さい封筒等に入れて同封してください。
- ・ 写真のサイズは、縦30mm×横24mmで、カラー写真。また、写真裏側に氏名・所属会社名を記入してください。
- ・ 送付する封筒には「橋梁点検技術研修会受講申込書」と記入して下さい。
- ・ 申込みは個人毎にお願いします。
- ・ 必要書類は、当センターホームページ※から[受講申込書、実務経験証明書]をダウンロードして使用してください。
※（公財）青森県建設技術センターホームページ URL：<http://www.akgc.or.jp/>

2. 申込み期間

令和3年6月14日(月)～6月18日(金)

この期間の到着分のみ受付します。期間前に到着した場合は受付しません。

定員を超えた場合は抽選で受講者を決定します。

3. 注意事項

- ・ 大型封筒による複数人分の一括送付、返信用封筒の同封が無いものは無効となります。

III. 受講者決定後の手続き

1. 受講者の決定

- ・ 受講決定者には、受講料納入通知書を同封します。

2. 受講料の納付

- ・ 受講決定者に受講料（テキスト代、消費税含む）の納入通知書を郵送しますので、納期限までに当センター指定銀行口座へ振り込み入金して下さい。
また、事前に入金を確認できない場合は、受講資格を取り消します。
- ・ 研修会当日欠席された方には、受講料返金はできませんのでご注意ください。
ただし、研修会に使用しましたテキストは郵送させていただきます。

3. 受講者の受付

- ・ 研修会の当日、納入通知書の控えが受講票となりますので（コピー可）必ず持参して下さい。

4. 注意事項

- (1) 受講者の変更はできません。
- (2) 受講料納入後のキャンセルは欠席扱いとなります。その際は受講料の返金はできませんのでご注意ください。
- (3) 研修当日は下記を持参してください
 - ・ 筆記用具、ヘルメット（現地研修）

IV. 使用テキスト

- ・ 橋梁点検技術研修会テキスト
- ・ 青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル抜粋 点検・調査編、同資料
・・・青森県県土整備部
- ・ 損傷事例の評価
- ・ 橋梁点検ハンドブック（１）橋梁点検のポイント
・・・R P I (一財)大阪地域計画研究所B M S コンソーシアム
- ・ 橋梁点検ハンドブック（２）定期点検の手引き
・・・R P I (一財)大阪地域計画研究所B M S コンソーシアム
- ・ その他
上記のテキストとともに研修会当日に配布いたします。

V. C P D S について

- ・ 本研修会はC P D S 認定プログラムとして承認されています。
- ・ プログラム登録番号は「6 4 7 2 7 8」です。
- ・ ユニット数は「1 4 u n i t」となります。
- ・ 3日間全て出席された方に受講証明書を配付します。
- ・ 学習プログラムは各自で申請して下さい。

VI. 研修事務局

1. 申込み先

（公財）青森県建設技術センター 研修試験課
〒030-0822
青森市中央三丁目21―9
T E L : 017-777-6545 F A X : 017-777-6646
担当者 研修試験課：堀内

2. その他

受講いただく際は、検温、マスクの着用、手洗い、手指の消毒、咳エチケット等へのご協力をお願いいたします。

当センター事務局職員は「夏季の軽装」実施中につき、暑さをしのぎやすい服装で対応させていただきますので、あらかじめ御了承くださいますようお願い申し上げます。

橋梁点検技術研修会プログラム

第1日目 7月13日(火) 研修会場：水産ビル 7階 大会議室			
時間		内容	講師
10:30～10:35		オリエンテーション	
10:35～10:40		開会挨拶	(公財) 青森県建設技術センター
10:45～12:00		青森県の橋梁アセットマネジメント	青森県県土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ
12:00～13:00		昼 食	
13:00～14:30		橋梁点検ポイント	(一財) 大阪地域計画研究所 主席研究委員 千葉 陽子
14:40～16:40		コンクリート橋の点検（下部工の点検を含む）	
第2日目 7月14日(水) 研修会場：水産ビル 7階 大会議室			
9:00～10:50		鋼橋の点検	(一社) 日本構造物診断技術協会 診断士会役員 島辺 政秀
11:00～12:30		損傷程度の評価例(H16年点検橋梁)	
12:30～13:30		昼 食	
13:30～15:40		筆記試験(橋梁構造の基本、点検の知識)	受講者
15:50～16:30		橋梁点検の実務(点検作業の手順)	青森県県土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ
第3日目 7月15日(木) 県内現地研修			
08:40～09:00		集 合	
09:00～10:00		現地へ移動（バス）	
10:00～10:10		実地試験 事前説明	(公財) 青森県建設技術センター
10:10～11:30		現地研修 実橋の点検	受講者
11:30～12:30		現地から移動（バス）解散	

※ 都合により講師、プログラム等一部変更する場合があります。

研修会会場について

研修会場：水産ビル7階 大会議室
駐車場はございませんので、公共交通機関等をご利用下さい。
 青森市安方 1-1-32
 Tel：017-722-5001



指 定 学 科 に つ い て

指定学科については、２級土木施工管理技士検定学科試験受験資格を準用する。

国土交通省令で定める学科及びそれに準ずると認める学科

学校教育法による大学・短期大学・高等専門学校（５年制）・高等学校を卒業された方に共通する指定学科です。

学 科 コード	指 定 学 科			
0 1	土木（工学）科	海洋開発（工学）科	海洋工学科	海洋土木工学科
	開発工学科	環境開発科	環境建設科	環境土木科
	環境整備工学科	環境設計工学科	建設環境工学科	建設基礎工学科
	建設技術科	建設（工学）科	建設工業科	建設システム（工学）科
	建築土木科	構造工学科	資源開発工学科	社会開発工学科
	社会建設工学科	水工土木（工）学科	地質工学科	土木海洋工学科
	土木環境工学科	土木建設工学科	土木建築（工学）科	土木地質科
0 2	農業土木（学）科	生活環境科学科	生産環境工学科	地域開発科学科
	農業開発科	農業技術学科	農林工学科	農林土木科
	農業工学科（ただし、東京農工大学・島根大学・岡山大学及び宮崎大学以外については、農業機械学専攻、専修又はコースを除く）			
	学科名に関係なく生産環境工学コース・講座・専修・専攻			
	学科名に関係なく農業土木学コース・講座・専修・専攻			
0 3	森林土木（学）科	森林工学科	林業工学科	林業土木科
0 4	鉱山土木学科			
0 5	砂防学科			
0 6	治山学科			
0 7	都市工学科	環境都市工学科	都市システム（工学）科	
0 8	衛生工学科	設備（工業）科	設備工学科	設備システム科
	環境（工学）科	空調設備科		
0 9	交通工学科			
1 0	建築（学）科	環境計画学科	建築工学科	建築システム科
	建築設備工学科	建築第二学科	住居科	住居デザイン科
	造形工学科			
1 1	緑地（学）科	環境緑化科	環境緑地科	緑地園芸科
	緑地工学科	緑地土木科	林業緑地科	
	造園（学）科	環境造園科	造園工学科	造園土木科
	造園緑地科	造園林学科	造園デザイン（工学）科	

橋 梁 点 検 技 術 研 修 会 受 講 申 込 書

(公財) 青森県建設技術センター 理事長 殿

私は、「橋梁点検技術研修会受講申込書」の記載事項が事実であり、
正確であることを誓約します。

フリガナ			整理番号		※
氏 名					
生年月日	昭和 平成	年	月	日	(歳) 性別 男 女
自 宅 所	〒				
	本 籍 地	都道府県		電 話 番 号	
勤 務 先	住 所	〒			
	フリガナ				
	名 称				
	部 課 名 等		電 話 番 号		
最終学歴 注1	学校名及び 学部(科)名				
	在 学 期 間	年	月	～	年 月

注1 学校教育法(5年制)によらない専門学校、訓練校は最終学歴にはなりません。

注2 ※印の欄は記入しないで下さい。

橋梁点検技術研修会写真票

フリガナ			写真添付欄 たて3.0cm よこ2.4cm 1.全体に糊付けして 下さい。 2.はがれる恐れがあ りますので、裏面に氏 名を記入して下さい。	出欠状況確認欄		
氏 名				第1日目	午前	※
				午後	※	
			第2日目	午前	※	
				午後	※	
			第3日目	午前	※	
				午後	※	
受講番号	※		※			

年 月 日
撮 影

実務経験証明書

(公財) 青森県建設技術センター 理事長 殿

私は、「実務経験証明書」の記載事項が事実であり、
正確であることを誓約します。

受講番号※	
提出年月日	
氏名	
昭和・平成	年 月 日生

[illegible]

注1 従事期間の合計が実務経験年数を満たすように記載して下さい。

注2 過去に勤めていた会社の経験も含めて、現在の会社の証明で結構です。

注3 ※印の欄は記入しないで下さい。

平成 年度から平成・令和 年度について、上記の通り相違ないことを証明します。

令和 年 月 日 会社の所在地

会社名

代表者名	代表者職名	代表者住所	代表者電話番号	代表者Eメール
代表者名	代表者職名	代表者住所	代表者電話番号	代表者Eメール

代表者印